

分化再生制御学分野

【研究成果報告書】

- 1) 里方一郎: メダカを用いた先天異常症の原因遺伝子の同定. 文部科学省研究補助金研究, 基盤研究C 課題番号 16591011, 2004年
- 2) 里方一郎: 発生における転写因子 Msx の BMP4 へのポジティブフィードバック機構とその役割. 文部科学省研究補助金研究, 特定領域研究 課題番号 16027217, 2004年
- 3) 伊東達雄: HGF(肝細胞増殖因子)を用いた Alport 症候群の遺伝子治療法の検討. 文部科学省研究補助金研究, 若手研究 課題番号 16790570, 2004年

【講演・シンポジウム】

- 1) 里方一郎: 頭蓋・顎顔面の先天異常と転写因子. 第44回日本先天異常学会学術集会, 熊本, 2004年7月16日.
- 2) 伊東達雄: Alport 症候群の治療法開発に向けた基礎的研究. 第39回日本小児腎臓病学会学術集会, 熊本, 2004年7月2日.

【学会発表】

- 1) 磯部賢論, 伊東達雄, 里方一郎: Hepatocyte Growth Factor は Alport 症候群モデルマウスの尿蛋白を抑制できる. 第39回日本小児腎臓病学会学術集会, 熊本, 2004年7月2日.

予防歯科学分野

【論文】

- 1) Sakuma S, Kobayashi S, Ikeda S, Miyazaki H: Fluoride mouth rinsing proficiency of Japanese preschool-aged children. *Int Dent J*, 54: 126-130, 2004.
- 2) Senpuku H, Tada A, Yamaga T, Hanada N, Miyazaki H: Relationship between volatile sulphide compounds concentration and oral bacteria species detection in the elderly. *Int Dent J*, 54: 149-153, 2004.
- 3) Yoshihara A, Seida Y, Hanada N, Miyazaki H: A longitudinal study of the relationship between periodontal disease and bone mineral density in community-dwelling older adults. *J Clin Periodontol*, 31: 680-684, 2004.
- 4) Yoshihara A, Sakuma S, Wang J, Miyazaki H: The long term effect of fluoride mouthrinse on changes in salivary levels of mutans streptococci in schoolchildren. *J Dent Hlth*, 54: 233-240, 2004.

- 5) Watanabe R, Hanamori K, Kadoya H, Nishimuta M, Miyazaki H: Nutritional intakes in community-dwelling older Japanese adults: High intakes of energy and protein based on high consumption of fish, vegetables and fruits provide sufficient micronutrients. *J Nutr Sci Vitaminol*, 50:184-195, 2004.
- 6) Amarasena HND, Ikeda N, Win KKS, Takehara T, Miyazaki H: Factors associated with several periodontitis in rural Cambodia. *Asia Pac J Public Health*, 16(1): 50-53, 2004.
- 7) Shimazaki Y, Soh I, Koga T, Miyazaki H, Takehara T: Relationship between dental care and oral health in institutionalized elderly people in Japan. *J Oral Rehabil*, 31: 837-842, 2004.
- 8) Nomura Y, Takeuchi H, Kaneko N, Matin K, Iguchi R, Toyoshima Y, Kono Y, Ikemi T, Imai S, Nishizawa T, Fukushima K, Hanada N: Feasibility of eradication of mutans streptococci from oral cavities. *J Oral Sci*, 46:179-183, 2004.
- 9) Wang J, Someya Y, Inaba D, Longbottom C, Miyazaki H: Relationship between electrical resistance measurements and microradiographic variables during remineralization of softened enamel lesions. *Caries Res*, 39:60-64, 2005.
- 10) Amarasena N, Ogawa H, Yoshihara A, Hanada N, Miyazaki H: Serum vitamin C-periodontal relationship in community-dwelling elderly Japanese. *J Clin Periodontol*, 32: 93-97, 2005.
- 11) Yoshioka M, Ayabe M, Yahiro T, Higuchi H, Higaki Y, St-Amand J, Miyazaki H, Yoshitake Y, Shindo M, Tanaka H: Long-period accelerometer monitoring shows the role of physical activity in overweight and obesity. *Int J Obesity*, advance online publication 11 January 2005; doi: 10.1038/sj.ijo.0802891.
- 12) Yoshihara A, Sugita N, Kobayashi T, Ogawa H, Yoshie H: Fc RIIIb genotypes and smoking in periodontal disease progression among community-dwelling older adults in Japanese. *J Periodontol*, in press, 2005.
- 13) Nakashima K, Kobayashi T, Yoshihara A, Fujiwara J, Miyazaki H, Kowashi Y: The association between serum IgG subclass levels and the periodontal status in an elderly Japanese population. *J Periodont Res*, in press, 2005.
- 14) Yoshihara A, Kataoka S, Seida Y, Hanada N, Miyazaki H: The relationship between bone

mineral density and missing teeth in community-dwelling older adults. J Oral Rehabil, in press, 2005.

- 15) 葎原明弘, 清田義和, 片岡照二郎, 花田信弘, 宮崎秀夫: 地域在住高齢者の食欲と QOL との関連, 口腔衛生会誌, 54: 241-248, 2004.
- 16) 八木 稔, 高木律男, 西田康文, 小林秀人, 安島久雄, 池田順行, 山田裕士, 宮崎秀夫: 新潟県の 1 中学校における顎関節機能に関する自己記入式アンケート調査, 新潟歯学会誌, 34: 11-15, 2004.
- 17) 興地隆史, 福島正義, 吉羽邦彦, 小林 博, 葎原明弘, 星名秀行, 富沢恵美子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 客観的臨床能力試験 (OSCE) における概略評定の信頼性と妥当性 - 平成 15 年度本学歯学部 OSCE の解析 -, 日歯教誌, 20: 135-141, 2004.
- 18) 安島久雄, 小野和宏, 前田健康, 永田昌毅, 高木律男, 山田好秋, 興地隆史, 魚島勝美, 葎原明弘, 花田昇治: 歯学教育プログラムへの PBL 教育の導入 - 南カリフォルニア大学歯学部における実態調査, 日歯教誌, 20: 166-173, 2004.
- 19) 岩船素子, 五十嵐直子, 河野正司, 清田義和, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 義歯の装着と咬合力および噛める食品との関係, 新潟歯学会誌, 34: 213-218, 2004.
- 20) 青砥聖二, 深町博臣, 葎原明弘, 齋藤 功: 咬合分類判定の再現性に関する研究, Orthodontic Waves 63 (2): 95-99, 2004.
- 21) 後藤田宏也, 田口千恵子, 水野恭子, 有川量崇, 小林清吾, 佐久間汐子: 一般開業歯医による探針を用いない初期う蝕診断の検査者間誤差, 日歯医療管理誌, 39: 171-173, 2004.

【著書】

- 1) 宮崎秀夫: 歯科疾患の状況, 2004 年版歯科衛生の動向 (日本口腔衛生学会編). xii-xvi, 2-11 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 2) 宮崎秀夫: 歯周病の記述疫学, 歯周病と全身の健康を考える (財団法人ライオン歯科衛生研究所編). 69-74 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 3) 葎原明弘: 食生活・栄養と歯周病, 歯周病と全身の健康を考える (財団法人ライオン歯科衛生研究所編). 132-136 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 4) 山賀孝之: 口臭の検査, 予防歯科実践ハンドブック (予防歯科臨床教授協議会編). 32-33 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 5) 山賀孝之: 口臭の診断, 予防歯科実践ハンドブック (予防歯科臨床教授協議会編). 52-53 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 6) 八木 稔: フッ化物歯面塗布, 予防歯科実践ハンド

ブック (予防歯科臨床教授協議会編). 94-95 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.

- 7) 宮崎秀夫: 口臭の治療法, 予防歯科実践ハンドブック (予防歯科臨床教授協議会編). 120-121 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 8) 宮崎秀夫: 口臭患者のメンテナンス, 予防歯科実践ハンドブック (予防歯科臨床教授協議会編). 150-151 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 9) 葎原明弘: 地域でのコンセンサスの形成, 予防歯科実践ハンドブック (予防歯科臨床教授協議会編). 162-163 頁, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 10) 宮崎秀夫: 国際協力, スタンダード社会歯科学 (石井拓男ほか編). 186-193 頁, 学建書院, 東京, 2004.

【商業誌・その他】

- 1) Yoshihara A, Seida Y, Hanada N, Miyazaki H: Is the bone mineral density a risk factor for periodontal disease progression? Dental Tribune International, in press, 2005.
- 2) 葎原明弘, 宮崎秀夫: 口腔健康指標としての血清アルブミン. 臨床検査, 48:567-570, 2004.
- 3) 小川祐司, 宮崎秀夫: World topics/ タバコ喫煙と口腔保健. 衛生士誌, 28(6): 81, 2004.
- 4) 小川祐司, 宮崎秀夫: World topics/ 喫煙者に対する抗菌剤 (Doxycycline) 療法を局所応用した歯周治療法. 衛生士誌, 28(10): 72, 2004.
- 5) 小川祐司, 宮崎秀夫: World topics/ 食生活, 栄養摂取と歯科疾患予防について. 衛生士誌, 29(2): 77, 2005.
- 6) 八木 稔, 宮崎秀夫, 川口陽子, 佐久間汐子, 葎原明弘: 歯科保健における予防プログラムと健康日本 21. 学校保健研究, 46: 601-602, 2005.

【研究成果報告書】

- 1) 宮崎秀夫: 口腔保健と全身的な健康状態の関係について, 高齢者の追跡調査. 17-35, 2004. (平成 15 年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
- 2) 佐久間汐子, 葎原明弘, 片岡照二郎, 濃野 要, 宮崎秀夫: 高齢者における刺激唾液流量とう蝕有病状況. 72-75, 2004. (平成 15 年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
- 3) 廣富敏伸, 葎原明弘, 小川祐司, 山賀孝之, 高野尚子, 宮崎秀夫: 新潟市高齢者における 5 年間の歯周病進行に関する研究. 113-117, 2004. (平成 15 年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
- 4) 山賀孝之, 片岡照二郎, 宮崎秀夫: 高齢者の歯周病進行と揮発性硫黄化合物濃度の関係. 118-120, 2004.

- (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
- 5) 葎原明弘, 渡邊令子, 西牟田 守, 花田信弘, 八木 稔, 金子 昇, 宮崎秀夫: 食事秤量調査による栄養摂取量, 随時尿中成分と歯科疾患の関連. 121-140, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 6) 八木 稔, 清田義和, 葎原明弘, 宮崎秀夫: アンケート調査による口腔関連の項目と日常身体活動状況との関連 - 1年間の変化をみて -, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -. 141-147, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 7) 清田義和, 葎原明弘: 70歳高齢者の歯の喪失リスクに関する研究 - 5年後のコホート調査結果 -. 148-152, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 8) 葎原明弘, 高野尚子, 佐久間汐子, 金子 昇, 宮崎秀夫: 高齢者の5年間における根面う蝕の発生状況とその要因についての研究. 153-154, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 9) 葎原明弘, 小川祐司, 廣富敏伸, 宮崎秀夫: 高齢者における歯周組織破壊のRisk indicatorについて. 155-156, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 10) Najith Amarasena, 小川祐司, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の歯周組織における喫煙と血中ビタミンC濃度との関係の調査. 157-172, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 11) 葎原明弘, 清田義和, 濃野 要, 花田信弘, 宮崎秀夫: 高齢者における骨密度と歯周疾患の関連性について. 173-199, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 12) 葎原明弘, 清田義和, 花田信弘, 中島啓介, 宮崎秀夫: 高齢者における骨密度と歯の喪失の関連性について. 200-223, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 13) 葎原明弘, 清田義和, 片岡照二郎, 花田信弘, 宮崎秀夫: 地域在住高齢者の食欲とQOLとの関連. 224-235, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H13 - 医療 - 001)
 - 14) 佐久間汐子, 八木 稔, 筒井昭仁, 平田幸夫, 中村宗達, 西牟田 守, 古賀 寛: 飲料水中フッ化物濃度が低濃度および中等度(約0.6ppm)地域におけるう蝕有病状況・歯のフッ素症発現状況および食事からのフッ化物摂取量(陰膳食法による), フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究. 79-87, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H15 - 医療 - 020)
 - 15) 八木 稔, 可児徳子, 眞木吉信, 飯島洋一, 村上多恵子, 中垣晴男: フッ化物歯面塗布の技法に関する研究, フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究. 137-141, 2004. (平成15年度厚生労働科学研究報告 H15 - 医療 - 020)
 - 16) 宮崎秀夫: 地域住民の口腔保健と全体的な健康状態の関係についての総合研究, 87-95, 2005. (平成16年度厚生労働科学研究報告 H16 - 医療 - 020)
 - 17) 廣富敏伸: 高齢者における刺激唾液と歯周病との関連に関する疫学研究, 119-121, 2005. (平成16年度厚生労働科学研究報告 H16 - 医療 - 020)
 - 18) アントラハルジョ: 地域在住高齢者におけるブローピング時の出血と歯周病の進行との関連性, 122-141, 2005. (平成16年度厚生労働科学研究報告 H16 - 医療 - 020)
 - 19) 小川祐司: 高齢者における血清アルブミンと歯周病との関連に関する疫学研究, 220-222, 2005. (平成16年度厚生労働科学研究報告 H16 - 医療 - 020)
 - 20) 出口知也, 葎原明弘, 宮崎秀夫: パノラマX線写真を用いた顎骨評価指数の解明と歯の喪失との関連, 227-230, 2005. (平成16年度厚生労働科学研究報告 H16 - 医療 - 020)
- 【講演・シンポジウム】
- 1) Miyazaki H: Dental disease prevention contributes to maintain high QOL for the elderly, 6th Asian Academy of Preventive Dentistry, Bali (Indonesia), 2004年12月3 - 5日.
 - 2) 八木 稔: 健康しもにた21「8020」をめざして健康な歯と体. 下仁田町保健推進員会議, 下仁田町, 2004年4月20日.
 - 3) 八木 稔: 診断の一致 - スクリーニングにおける課題 -. 三市中東蒲原郡歯科医師会白根班, 白根市, 2004年4月27日.
 - 4) 佐久間汐子: 安全にフッ素洗口を実施するために. 豊栄市早通北保育園, 豊栄市, 2004年4月28日.
 - 5) 佐久間汐子: 安全にフッ素洗口を実施するために. 豊栄市かやま保育園, 豊栄市, 2004年4月28日.
 - 6) 佐久間汐子: 安全にフッ素洗口を実施するために. 豊栄市二葉保育園, 豊栄市, 2004年5月12日.
 - 7) 佐久間汐子: 安全にフッ素洗口を実施するために. 豊栄市二葉保育園, 豊栄市, 2004年6月17日.
 - 8) 葎原明弘: 保育士等のためのむし歯予防について. 長岡市保育所職員研修会, 長岡市, 2004年7月3日.
 - 9) 佐久間汐子: 生涯を通じたむし歯予防対策. 新潟県歯科保健従事者研修会, 新潟市, 2004年7月7日.
 - 10) 葎原明弘: 歯周疾患対策の推進について. 新潟県歯

- 科保健従事者研修会, 新潟市, 2004年7月7日.
- 11) 葭原明弘: 保育園・学校でフッ素洗口をはじめるにあたり注意点の整理. 上越歯科医師会歯科保健研修会, 上越市, 2004年7月8日.
 - 12) 葭原明弘, 高橋純子: 要介護者への口腔ケアの普及に向けて, 「要介護者口腔保健ネットワークシステムの開発」. 第15回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2004年7月24日.
 - 13) 八木 稔: むし歯予防とフッ化物応用について. 阿賀野市立あやめ保育園, 阿賀野市, 2004年8月2日.
 - 14) 八木 稔: むし歯予防とフッ化物応用について. 阿賀野市立分田保育園, 阿賀野市, 2004年8月5日.
 - 15) 宮崎秀夫: 医歯学病院統合後の歯科医療の展望. 栃木県新潟大学歯学部同窓会, 宇都宮市, 2004年8月29日.
 - 16) 宮崎秀夫: 口臭の検査・診断・治療. 日本大学歯学部, 東京, 2004年8月30日.
 - 17) 八木 稔: むし歯予防とフッ化物応用について. 私立やすらぎ保育園, 阿賀野市, 2004年9月14日.
 - 18) 八木 稔: むし歯予防とフッ化物応用について. 私立よろこび保育園, 阿賀野市, 2004年9月27日.
 - 19) 八木 稔: フッ素洗口の意義と実際. 佐渡市立金泉小学校, 佐渡市, 2004年10月15日.
 - 20) 八木 稔: むし歯予防とフッ化物応用について. 私立たちばな保育園, 阿賀野市, 2004年10月16日.
 - 21) 葭原明弘: 一生自分の歯で食べるために. 新津発8020フォーラム, 新津市, 2004年10月22日.
 - 22) 八木 稔: むし歯予防とフッ化物応用について. 私立みどり保育園, 阿賀野市, 2004年10月25日.
 - 23) 宮崎秀夫: 口臭 - その診断・予防・カウンセリング・治療 -. 第20回日本歯科医学会, 横浜市, 2004年10月29-31日.
 - 24) 八木 稔: 新潟県における歯科保健のプロモーション, 「学校歯科保健における予防プログラムと健康日本21」. 第51回日本学校保健学会, 新潟市, 2004年11月14日, 日本学校保健研究, 46, 80-81頁, 2004年.
 - 25) 宮崎秀夫: 予防を中心に考える学童期の歯科保健, 学校歯科保健のあり方 - 口腔保健から全身の健康と社会生活の向上へ -, 「学校歯科保健における予防プログラムと健康日本21」. 第51回日本学校保健学会, 新潟市, 2004年11月14日, 日本学校保健研究, 46, 82-83頁, 2004年.
 - 26) 佐久間汐子: 新潟県の学校歯科保健におけるう蝕予防プログラム, 学校ベースのフッ化物洗口プログラム - その成果と課題, 「学校歯科保健における予防プログラムと健康日本21」. 第51回日本学校保健学会, 新潟市, 2004年11月14日, 日本学校保健研究, 46, 86-87頁, 2004年.
 - 27) 葭原明弘: 成人歯科保健とくに歯肉炎および歯周疾患予防の導入時期としての学校歯科保健, 「学校歯科保健における予防プログラムと健康日本21」. 第51回日本学校保健学会, 新潟市, 2004年11月14日, 日本学校保健研究, 46, 88-89頁, 2004年.
 - 28) 宮崎秀夫: 口臭を訴える患者に出会ったら - 新潟大学口臭外来での取り組み. 福井県保険医協会, 福井市, 2004年11月21日.
 - 29) 宮崎秀夫: 口臭治療は新たな歯科医療の展開を生み出す - 口臭の検査・診断・治療に加えて. 函館歯科医師会学術講演会, 函館市, 2004年11月28日.
 - 30) 葭原明弘: めざせ! 歯の健康日本一. ビックスワン健康・スポーツ公開講座, 新潟市, 2004年12月11日.
 - 31) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防. 新潟市坂井輪保育園, 新潟市, 2005年2月24日.
 - 32) 宮崎秀夫: 歯周病は公衆衛生で取り扱うべき問題か? 石川県歯周疾患対策推進事業における歯科医師・歯科衛生士研修会, 金沢市, 2005年3月27日.
- 【学会発表】
- 1) Yoshihara A, Sato M, Miyazaki H: Effect of oral health care on the recovery from surgery in elderly patients by measuring volatile sulphur compounds. 6th International Conference for Breath Odor, London (United Kingdom), 2004年4月21-22日.
 - 2) Yamaga T, Rahardjo A, Shirone K, Miyazaki H: Screening for severe periodontal disease in an elderly population using methyl mercaptan concentration ratio. 6th International Conference for Breath Odor, London (United Kingdom), 2004年4月21-22日.
 - 3) Yoshimatsu D, Sugimura S, Ioka T, Kometani T, Yamaga T, Miyazaki H: Effect of Protease Tablet on Reduction of Tongue Coating. 6th International Conference for Breath Odor, London (United Kingdom), 2004年4月21-22日.
 - 4) Yoshihara A, Sato M, Miyazaki H: Effect of oral health care on the recovery from surgery in elderly patients. 日露医学会シンポジウム(新潟市), 2004年8月10日.
 - 5) Yamaga T, Miyazaki H: Periodontal assessment using oral gas measurement. 日露医学会シンポジウム(新潟市), 2004年8月10日.
 - 6) Kataoka S, Sakuma S, Yoshihara A, Miyazaki H: Maturation progress in fissure enamel for 5-year period from eruption. 6th Asian Academy of

- Preventive Dentistry, Bali (Indonesia), 2004年12月3 - 5日。
- 7) Nohno K, Sakuma S, Miyazaki H: Fluoride intake by a duplicate-diet technique in Japanese children. 6th Asian Academy of Preventive Dentistry, Bali (Indonesia), 2004年12月3 - 5日。
- 8) Rahardjo A, Yoshihara A, Amarasena N, Ogawa H, Miyazaki H: Relationship between bleeding on probing and periodontal disease progression in community-dwelling older adults. 6th Asian Academy of Preventive Dentistry, Bali (Indonesia), 2004年12月3 - 5日。
- 9) Kanaya T, Kaneko N, Amaike C, Fukushima M, Morita S, Miyazaki H, Saito I: The effect of orthodontic appliances on levels of *Streptococcus mutans* and *Streptococcus sobrinus*, and microbial flora in saliva. International Symposium for Interface Oral Health Science (仙台市), 2005年2月2-3日。
- 10) Yoshihara A, Watanabe R, Nishimuta M, Hanada N, Miyazaki H: Nutrient values and dental diseases in the elderly. 83rd General Session of the IADR, Baltimore (USA), 2005年3月9 - 12日。
- 11) Ogawa H, Yoshihara A, Miyazaki H: Association between Serum Albumin and Periodontal disease in community-dwelling elderly. 83rd General Session of the IADR, Baltimore (USA), 2005年3月9 - 12日。
- 12) Hirotoomi T, Yoshihara A, Ito K, Igarashi A, Miyazaki H: Relationship between stimulated saliva and periodontal condition in community-dwelling elders. 83rd General Session of the IADR, Baltimore (USA), 2005年3月9 - 12日。
- 13) 金子 昇, 花田信弘, 宮崎秀夫: ミュータンスレンサ球菌分離株のグルカン合成能の検討。第77回日本細菌学会総会, 大阪市, 2004年4月1 - 3日, 日本細菌学雑誌, 59, 183頁, 2004年。
- 14) Rahardjo A, Yoshihara A, Miyazaki H: Relationship between bleeding on probing and periodontal disease progression in community-dwelling older adults. 平成16年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2004年4月24日。
- 15) 戸ヶ崎多巴江, 渡邊智子, 渡邊令子, 佐々木敏, 西牟田守, 宮崎秀夫: 高齢者を対象とした簡易型自記式食事歴法調査票(BDHQ)による栄養素摂取状況の検討。第58回日本栄養・食糧学会大会, 仙台市, 2004年5月22日。
- 16) 藤井規孝, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 斉藤功, 小野和宏, 山村健介, 中島貴子, 山田好秋, 宮崎秀夫, 前田健康: 新潟大学歯学部におけるFDワークショップの試み。第23回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市, 2004年7月1 - 2日。
- 17) 吉羽邦彦, 興地隆史, 富沢美恵子, 福島正義, 小林 博, 葎原明弘, 星名秀行, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 客観的臨床能力試験(OSCE)の信頼性の分析。第23回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市, 2004年7月1 - 2日。
- 18) 興地隆史, 福島正義, 吉羽邦彦, 小林 博, 葎原明弘, 星名秀行, 富沢美恵子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 概略評定の妥当性と信頼性に関する解析。第23回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市, 2004年7月1 - 2日。
- 19) 加藤一誠, 興地隆史, 樋浦健二, 小林哲夫, 石崎裕子, 魚島勝美, 宮崎秀夫, 山田好秋: 臨床実習教育支援のための患者管理システムの開発。第23回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市, 2004年7月1 - 2日。
- 20) 大内章嗣, 大島勇人, 富沢美恵子, 福島正義, 山崎和久, 隅田好美, 小野和宏, 五十嵐敦子, 八木 稔, ステガロコ・ロクサーナ, 中島俊一, 山田好秋: 4年制歯科衛生士養成課程新入生に対する卒後進路希望等に関するアンケート調査。第23回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟市, 2004年7月1 - 2日。
- 21) 金谷登紀子, 金子 昇, 天池千嘉子, 福嶋牧子, 森田修一, 宮崎秀夫, 花田晃治: 固定式矯正装置がカリエスリスク及び口腔内細菌叢に及ぼす影響。平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2004年7月10日。
- 22) 片岡照二郎, 佐久間汐子, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 第一大臼歯咬合面小窩の萌出後のエナメル質成熟度について - 電気抵抗値の経年観察による - 。平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2004年7月10日。
- 23) 濃野 要, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: 飲料水中フッ化物濃度が異なる2地域に在住する小児の飲食物からのフッ化物摂取量の比較。平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2004年7月10日。
- 24) 岩舩素子, 五十嵐直子, 河野正司, 清田義和, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 義歯の装着者の咬合力。平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2004年7月10日。
- 25) 佐藤 徹, 八木 稔, 河内 博, 片山 修: 訪問歯科診療において寝たきり者に対して行われている口腔ケアに関する調査。第15回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2004年7月24日。
- 26) 片岡照二郎, 葎原明弘, 濃野 要, 峯田和彦, 高德

- 幸男, 河内 博, 片山 修, 宮崎秀夫: 8020 育成事業における要観察歯および歯肉炎への対応 - 3 年間の評価 - . 第 15 回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2004 年 7 月 24 日 .
- 27) 葎原明弘, 佐久間汐子, 峯田和彦, 高德幸男, 田村卓也: フッ化物洗口法によるう蝕予防効果の成人期における追跡調査, 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 314 頁, 2004 年 .
- 28) 泉福英信, 多田章夫, 津覇雄三, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 歯周疾患における *S. mutans* の歯表面付着阻害抗体の意義 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 327 頁, 2004 年 .
- 29) 清田義和, 葎原明弘, 小川祐司, 廣富敏伸, 山賀孝之, 高野尚子, 片岡照二郎, 濃野 要, 宮崎秀夫: 高齢者の咀嚼能力と日常生活動作遂行能力との関連性 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 354 頁, 2004 年 .
- 30) 佐藤 徹, 八木 稔, 河内 博, 片山 修: 歯科医師が経験した訪問歯科診療における介入的処置と自立的な日常生活の改善 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 362 頁, 2004 年 .
- 31) 佐久間汐子, 清田義和, 中林智美, 高德幸男, 石上和男, 宮崎秀夫: フッ化物歯面塗布とフッ化物配合歯磨剤の複合応用による乳歯う蝕予防事業の成果 - 就学時健診における評価 - . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 419 頁, 2004 年 .
- 32) 木元一成, 晴佐久悟, 山本武夫, 葎原明弘, 藤野悦男, 志村匡代, 田浦勝彦, 磯崎篤則, 荒川浩久, 小林清吾, 境 脩: 日本における集団応用でのフッ化物洗口に関する実態調査 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 420 頁, 2004 年 .
- 33) 八木 稔, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: フッ化物歯面塗布と複合応用されたフッ化物配合歯磨剤の早期使用における歯のフッ素症の発現リスク . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 424 頁, 2004 年 .
- 34) 金子 昇, 葎原明弘, 花田信弘, 宮崎秀夫: ミュータンスレンサ球菌分離株のグルカン合成能とう蝕との関連 . 第 53 回日本口腔衛生学会総会, 盛岡市, 2004 年 9 月 17 - 19 日, 口腔衛生会誌, 54, 442 頁, 2004 年 .
- 35) 金谷登紀子, 金子 昇, 天池千嘉子, 福嶋牧子, 森田修一, 花田晃治: 固定式矯正装置とカリエスリスク及び口腔内細菌叢との関連 . 第 63 回日本矯正歯科学会大会, 福岡市, 2004 年 11 月 17 - 19 日 .

う蝕学分野

【著書】

- 1) 興地隆史, 石井拓男: 可児徳子, 末高武彦編 医療安全管理体制 . 新社会歯科学 . 医歯薬出版, 46-69, 東京, 2005.
- 2) 興地隆史: 海野雅浩, 小谷順一郎, 渋井尚武, 森崎市治郎編 医療安全対策とは . 歯科医療安全対策マニュアル . 医歯薬出版, 東京, 印刷中 .
- 3) 興地隆史: 脇田 稔, 山下靖雄, 明坂年隆, 前田健康編 新編口腔組織発生学・象牙質 / 歯髄複合体, 5: 臨床的考察 . 医歯薬出版, 東京, 印刷中 .
- 4) 武井典子, 石黒幸司: 診療室からはじめよう 科学的な健康教育 第 1 ~ 6 回, 歯科衛生士 28 (1-6), クインテッセンス出版 (株), 東京, 2004 .
- 5) 武井典子, 渋谷耕司ら: 川畑徹朗監修 ライフスキルを育む実践・歯と口の健康教育 . (株) 東山書房, 京都, 2004.

【論文】

- 1) Angelova, A., Takagi, Y., Okiji, T., Kaneko, T., Yamashita, Y.: Immunocompetent cells in the pulp of human deciduous teeth. Arch of Oral Biol, 49 (1), 29-36, 2004.
- 2) Kikuchi, I., Wadachi, R., Yoshioka, T., Okiji, T., Kobayashi, C., Suda, H.: An experimental study on vasoconstriction effect of calcium hydroxide using rat mesentery. Australian Endo J., 29 (3), 116-119, 2004.
- 3) Han, L., Cruz, E., Fukushima, M., Okamoto, A. and Okiji, T.: An ultrastructural analysis of the prototype single-step adhesive applied on enamel and dentin surfaces. Dent Mater J., 23(3), 321-328, 2004.
- 4) Nakajo, K., Nakazawa, F., Iwaku, M. and Hoshino, E.: Alkali resistant bacteria in root canal systems. Oral Microbiology and Immunology, 19(6): 390-394, 2004.
- 5) Fukuda, T., Takenaka, S., Kota, K., Iwaku, M., Hoshino, E.: Aerotolerance of Peptostreptococcus anaerobius biofilms. Microbial Ecology in Health and Disease, 16(4), 205-210, 2004.
- 6) Han, L., Okamoto, A., Fukushima, M., and Okiji, T.: Enamel Micro-cracks Produced around Restorations with Flowable. Dent Material J., 24(1), 83-91, 2005.